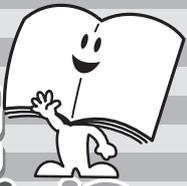


# 図書館での調べ物 レファレンス・サービス



## 50ぴりん その12

このコーナーでは  
図書館と本について  
紹介していきます。

**山田さん (以下山田)**▷こんにちは。今度、お茶摘みをする事になったのです。お茶はいつ頃から日本で栽培されるようになったのかしら。図書館では調べ物の手伝いもしてくれるんですね。

**図書館職員 (以下図書)**▷山田さん、こんにちは。図書館ではレファレンス・サービスという調べ物のお手伝いをしていますよ。ここに「食品大事典」(河野友美・編 真珠書院・発行)という本があります。この本には様々な食品の歴史や由来、調理法などが載っていますので一度これを見てみましょう。

**山田**▷この本によると日本にお茶を飲む方法が伝わったのは遣隋使の始まった頃で栽培が始まったのは平安時代。行基や最澄が中国からお茶の種を持ち帰り比叡山のふもと坂本にまいたと書いてあります。一般の人にも飲まれるようになったのは鎌倉

時代になってからで、それまでは貴族や僧侶などだけが飲める貴重で贅沢なものだったんですね。現在でも高価なお茶に「玉露」というのがありますが他のお茶とはどう違うのでしょうか。

**図書**▷「お茶の事典」(齊藤光哉・監修 成美堂出版・発行)この本を見てみましょう。

**山田**▷玉露・抹茶・煎茶・芽茶・茎茶・番茶・焙じ茶・玄米茶。日本茶とひと言っても、様々な種類があるんですね。玉露は新芽が伸びてきた頃に覆いを被せ、陽の光が当たらないように手間をかけて育てる。だから高価なのですね。今日はお茶のことがいろいろ分かり興味を持ちました。

**図書**▷市内では土山図書館にお茶に関する資料が豊富に揃っています。もっと詳しく調べたくなったらそちらもご利用ください。

### 他にもこんな本が!

- ☆「お茶の大研究」  
(大森正司・監修 PHP出版・発行)
- ☆「茶の湯早わかり事典」  
(主婦の友社・編集/発行)

今年度1年間は図書館での調べ物「レファレンス・サービス」についてこのようなスタイルでお知らせしていく予定です。

### 問い合わせ

水口図書館	☎ 63-7400 FAX 63-4737
土山図書館	☎ 66-1056 FAX 66-1067
甲賀図書情報館	☎ 88-7246 FAX 88-7005
甲南図書交流館	☎ 86-1504 FAX 86-1505
信楽図書館	☎ 82-0320 FAX 82-3921

## みんなの窓

# 百の理論より

# 一つの実践

自分も周りの人も、みんなが幸せに暮らすことのできる住みよいまちづくりのために、できることをともに考えていきましょう。

ご近所での会話より……

**Aさん**「嬉しいことがあるのよ。家に二人目の孫が誕生したので、お祝いのお饅頭を持ってきたの。皆さんどうぞ。」

**Bさん**「それは、おめでとうございます。二人目まで丁寧に、まあ、ありがとう。」

この会話を、みなさんはどう思われますか?

少し考えてみると、「ん？」と思うことがあります。

**Bさん**は、お饅頭に恐縮するあまり、「二人目まで丁寧」つまり「二人目のお祝いなんてそんなに丁寧にする事ないのに」と言うメッセージを語ってしまっています。

『人は皆、その命の尊さにおいて平等である』これが人権の考えです。そんなことはよく分かって

いるBさんでも、うっかりこんな会話になってしまいました。

案外、私たちの日常の中にはこういう意識が潜んでいるのかもしれない。例えばこれは、家父長制度からくる意識の影響であるかもしれない。何気ない一言で人ががっかりさせてしまうことがあります。

**Aさん**「あら、一人目も二人目も同じ大事な孫ですもの、祝ってやってくさいな。」

**Bさん**「Aさんの言うとおりやわ。ゴメンゴメン。ホンマにおめでとう。」

相手と話すとき、お互いに一言を大切にし、気づきから、思いやりと優しさを身につけ人権感覚を高めましょう。

問い合わせ 人権教育課  
☎ 86-8024  
FAX 86-8380